企画・情報政策グループ

１．第五次大阪狭山市総合計画中間見直し等事業

大阪狭山市総合計画・総合戦略審議会（計４回）を開催し、第五次総合計画（中間見直し）や第３期大阪狭山市総合戦略に関する事項についての調査及び審議を経て、答申を得ました。その後、パブリックコメント及び議員全員協議会のご意見を踏まえ、令和７年招集12月定例月議会において、「第五次大阪狭山市総合計画の中間見直しについて」を提出し、同議会での議決後、策定しました。

また、第３期総合戦略については、地方創生を実現するために重点的に取り組む施策（重点施策）として第五次総合計画と一体的に策定しました。

２．広域連携の推進

平成24年１月から南河内３市２町１村（大阪狭山市、富田林市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村）において、人口減少や少子高齢化への対応、効率的・効果的な行財政運営といった各団体の共通課題解決に加え、地域の成長と発展の観点から、「南河内広域事務室における事務処理体制及び共同処理事務」や「文化ホールの共同利用」等について調査・研究を行いました。

また、大阪・関西万博では、「南河内LIVE ART EXPO」と題し、南河内３市２町１村共同でそれぞれのアート作品を作成・展示し、国内外への南河内の魅力発信に努めました。大阪・関西万博終了後は当日に制作・展示された６つのアート作品をめぐる周遊企画として、「南河内EXPO ART TRIP」と題し、各地域に設置された作品や展示場所を訪れながら、南河内の文化芸術・歴史・自然等の魅力を体感できる取組みを実施しました。

３．まちの活性化推進事業

令和４年２月に策定した「狭山ニュータウン地区再生推進計画」において掲げる４つのシンボルプロジェクト等、狭山ニュータウン地区の再生・活性化に向けた施策の推進に努めました。また、各種の取組みにおける進捗等については、市民、識見を有する者、関係団体を代表する者等17名で構成する大阪狭山市狭山ニュータウン地区再生連絡協議会に報告し、意見をいただきました。

４．大阪・関西万博事業

大阪府と府内自治体が連携して実施する自治体参加催事「大阪ウィーク～春・夏・秋～」において、歴史文化遺産の展示や市民パフォーマンスステージ、市民アート展示などに出展するため、大阪狭山市2025年大阪・関西万博自治体参加催事等推進本部会議を開催し、意見交換を行いました。当日は、行政だけではなく、市民や事業者との連携を図りながら出展することにより、シビックプライドの醸成に努めました。

また、大阪・関西万博が、未来を担う子どもたちにとって未来社会の革新的な技術やサービスを直に体験できる機会となるよう、大阪府と連携し、市内に居住する４歳から17歳までの子どもたちを対象に、大阪・関西万博の入場チケットを申請に基づき無料配付し、1,578名の子どもたちが会場を訪問しました。

５．電子計算組織の管理運営

電子計算組織の効率的利用、システムの安定稼働や情報保護など適正な管理に努めました。

⑴住民情報システム

マイナンバー利用事務系において、住民情報に係るパッケージシステムを活用し、住民記録をはじめとする各種業務を効率的、効果的に実施しました。

令和８年３月に、ガバメントクラウド上で稼働する標準準拠システムへの移行を完了しました。

⑵庁内情報システム

LGWAN 接続系において、財務会計システムや文書管理システム、グループウェア等を活用し、行政事務の効率化、簡素化を推進しました。

⑶統合情報システム基盤

マイナンバー利用事務系・LGWAN 接続系・インターネット接続系の三層ネットワークのサーバー機器や利用者端末等のハードウェアを統合した環境及びそれぞれのネットワーク内で運用する各システムの利用環境を統合情報システム基盤として運用しました。

⑷庁内ネットワーク

庁内全体のネットワークについて、統一的かつ安全性の高いシステムのもとで管理運用を行いました。

令和７年６月に庁内ネットワーク機器の更新を完了しました。

⑸電子計算組織の構成

令和７年度の電子計算組織の構成は、次のとおりです。

■住民情報システム

区分		数量	備考
サーバー	住民情報システム DB サーバー	1 台	電算室
	住民情報システム用サーバー	1 台	電算室
	滞納管理システム用サーバー	1 台	電算室
	中間サーバーコネクタ用サーバー	1 台	電算室
	無停電装置	4 台	電算室
クライアント	パソコン（デスクトップ）	13 台	庁内各グループ
	パソコン（管理用・デスクトップ）	5 台	電算室ほか
	中間サーバーコネクタ用端末	2 台	電算室
プリンター	連続紙ページプリンター	1 台	電算室
その他	指ハイブリッド認証装置	18 台	庁内各グループ
	スキャナ	3 台	市民窓口グループ ニュータウン連絡所

■統合情報システム基盤

区分		数量	備考
サーバー	サーバー用仮想サーバー基盤	5台	電算室
	仮想端末用仮想サーバー基盤	6台	電算室
	インターネット接続系用仮想サーバー基盤	5台	電算室
	管理用サーバー等	4台	電算室
	ファイアウォール	6台	電算室
	無停電装置	10台	電算室
クライアント	パソコン（ノートブック）	445台	庁内各グループ
	パソコン（管理用・ノートブック）	5台	企画・情報政策グループ
	パソコン（管理用・デスクトップ）	4台	企画・情報政策グループ 電算室
プリンター	モノクロレーザープリンター	87台	庁内各グループ
	カラーレーザープリンター	1台	人事グループ
	モノクロ高速レーザープリンター	2台	出納室 電算室
	複合機	1台	健康推進グループ

■庁内ネットワーク

区分		数量	備考
ネットワーク	フロアスイッチ	46台	庁内各グループ
	無線AP	49台	庁内各グループ
	サーバスイッチ類	9台	電算室
	管理用サーバー等	4台	電算室
	ファイアウォール	2台	電算室
	無停電装置	3台	電算室
	VPNルータ	18台	電算室、出先14拠点
	光ファイバ	8芯	本庁⇔出先2拠点間
	VPN回線	15本	本庁⇔出先14拠点間

６．LGWAN（総合行政ネットワーク）管理事業

地方公共団体相互におけるコミュニケーションの円滑化や、情報の共有による高度利用を図るための基盤として、LGWANの管理を行いました。

また、LGWANを介してガバメントクラウドに接続できるよう、LGCS（LGWANガバメントクラウド接続サービス）を整備しました。

７．情報セキュリティの確保

(1)不正アクセスの防止

インターネット接続による不正アクセス防止のため、ファイアウォールをはじめとするサーバー類の維持・管理を行いました。さらに、情報システム強靭性向上事業によるインターネット接続環境の分離や、大阪版自治体情報セキュリティクラウドへの参加などにより、一層のセキュリティ強化に努めました。

また、各無線クライアントのユーザ認証を行い、無線LANのセキュリティの維持に努めました。

(2)ウィルス対策

コンピュータウィルスの脅威に対抗するため、ウィルス対策サーバーのメンテナンス及びパソコンに搭載しているウィルス対策ソフトの日常更新作業を行いました。

(3)職員のセキュリティ教育

職員のセキュリティ意識向上のため、大阪版デジタル人材シェアリング事業を活用し、外部専門人材によるインシデント対応訓練を実施しました。

８．業務効率化システムの運用

業務効率化を図るシステムの運用を行いました。

(1)RPAの運用

RPA（Robotic Process Automation）を効果的に活用するため、全庁的に使用できるロボットの作成を推進しました。

(2)チャットツールの運用

チャットツールを使用し、日常業務のコミュニケーションの効率化をはじめ、出張時や災害発生時のコミュニケーションの円滑化等を図りました。

(3)電子申請システムの運用

電子申請システムを使用し、庁内事務の電子化を図りました。

(4)AI議事録作成支援システムの運用

AI議事録作成支援システムを使用し、議事録作成業務の効率化を図りました。

(5)生成AIの活用

生成AIを使用し、文書作成や問い合わせ対応等各種業務の効率化を図りました。

９．行政手続オンライン化の推進

総務省が示す「自治体DX推進計画」及び「大阪狭山市DX推進方針」に基づき、電子申請システム及びマイナンバーカードを用いたぴったりサービスを活用することで、行政手続のオンライン化を推進しました。また、それらを「大阪狭山市オンライン手続き一覧」として集約、公開することで、オンライン手続きの利用促進を図りました。

秘書グループ

１．大阪狭山市功労者・善行者表彰

(1)大阪狭山市表彰審査委員会

大阪狭山市功労者・善行者表彰にあたり、被表彰候補者の厳正かつ公平な審査を行うため、9 月29 日に大阪狭山市表彰審査委員会へ諮問し、同日に答申を得ました。

(2)大阪狭山市功労者・善行者表彰式

11 月 3 日の文化の日に、SAYAKA ホールにおいて大阪狭山市功労者・善行者表彰式を行い、市民、団体及び本市に縁故の深いもので、市政または公益に関し功労のあった人に表彰状を贈呈しました。

・功労者表彰	自治功労の部	14 人
	公安防災功労の部	2 人
・善行者表彰		2 人

人事グループ

１．級別職員数及び平均給料　　令和７年４月１日現在

区　分	行　政　職　給　料　表								計
	１級	２級	３級	４級	５級	６級	７級	８級	
職員数（人）	33	35	59	86	70	46	13	16	358
平均給料（円）	228,418	249,046	271,047	327,143	361,823	401,865	432,377	463,281	327,451

２．予算科目別職員給与費

(1)一般会計　　（単位：千円）

科　目	科目別職員数（人）	給　料	扶養手当	管理職手当	地域手当	期末・勤勉手当	住居手当	通勤手当	時間外勤務手当	特殊勤務手当	その他	計
議会費	4	18,280	78	1,800	2,822	8,444	552	446	0	0	0	32,421
総務費	123	515,066	11,938	34,236	77,909	246,302	10,945	10,755	34,631	0	111,376	1,053,160
民生費	74	308,387	5,452	11,760	45,584	145,510	5,236	5,781	0	234	0	527,944
衛生費	27	113,505	3,712	4,080	16,982	55,571	1,308	1,402	0	1,068	0	197,627
農林水産業費	6	26,007	388	1,945	3,968	12,354	474	789	0	0	0	45,924
商工費	4	15,711	648	1,380	2,483	7,448	0	139	0	0	0	27,809
土木費	27	105,359	2,478	4,020	15,660	49,155	2,130	2,838	0	32	0	181,673
消防費	3	12,981	450	660	1,973	6,462	0	50	0	0	0	22,576
教育費	65	277,260	5,792	16,890	41,777	131,907	4,304	2,857	26,077	0	0	506,864
計	333	1,392,557	30,937	76,771	209,159	663,153	24,948	25,056	60,709	1,333	111,376	2,595,998

(2)国民健康保険特別会計　　（単位：千円）

科　目	科目別職員数（人）	給　料	扶養手当	管理職手当	地域手当	期末・勤勉手当	住居手当	通勤手当	時間外勤務手当	特殊勤務手当	その他	計
総務費	8	30,112	432	1,980	4,552	15,719	636	708	883	0	0	55,023

(3)介護保険特別会計　　（単位：千円）

科　目	科目別職員数（人）	給　料	扶養手当	管理職手当	地域手当	期末・勤勉手当	住居手当	通勤手当	時間外勤務手当	特殊勤務手当	その他	計
総務費	10	38,462	1,062	1,380	5,727	18,274	1,008	1,245	1,809	0	0	68,967

(4)後期高齢者特別会計　　（単位：千円）

科目	科目別職員数（人）	給料	扶養手当	管理職手当	地域手当	期末・勤勉手当	住居手当	通勤手当	時間外勤務手当	特殊勤務手当	その他	計
総務費	1	2,958	0	0	414	1,298	112	218	91	0	0	5,092

※　科目別職員数には特別職を含み、短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除きます。

※　金額は千円未満を四捨五入しています。

３．職種別年齢別職員数　　令和７年４月１日現在（単位：人）

区分	総数	20歳未満	20～25歳	26～31歳	32～37歳	38～43歳	44～49歳	50～55歳	56～59歳	60歳以上	平均年齢
総数	358	0	42	60	65	58	19	58	44	12	41歳　0月
一般行政職	263	0	26	50	54	47	6	37	35	8	40歳　6月
税務職	21	0	4	4	5	3	1	2	2	0	37歳　3月
保健師	11	0	2	0	1	1	3	3	0	1	44歳　3月
福祉職	19	0	7	3	1	1	2	4	0	1	37歳　7月
技能労務職	12	0	0	0	0	0	2	7	2	1	53歳　11月
教育職	32	0	3	3	4	6	5	5	5	1	43歳　6月

４．令和７年度中採用・退職者数　　（単位：人）

区分	採用者数			退職者数		
	男	女	計	男	女	計
総数	13	12	25	11	6	17
一般行政職	10	4	14	7	2	9
税務職	1	2	3	0	0	0
保健師	0	0	0	0	0	0
福祉職	0	3	3	1	3	4
技能労務職	1	0	1	0	0	0
教育職	1	3	4	3	1	4

５．職員研修の状況（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

職員の能力開発や資質の向上のための職員研修を実施しました。実施状況は、次のとおりです。

区分	研修名	対象者	内容	受講者数(延べ)(人)
内部研修（階層別）	新規採用職員研修	新規採用職員	新規採用職員を対象に「人権問題」や「大阪狭山市の歴史的沿革」をはじめ、本市行政に関する基本的な知識の習得を図る。（計３件）	53
	令和８年４月１日採用予定者向け研修	令和８年４月１日の採用者	内定者が公務員として必要な基礎知識などの理解を深めるとともに、社会人としての心構えを養い、入庁前の不安を軽減することを目的とする。	11
	フロアマネージャー体験研修(事前・実践)	新規採用職員	挨拶や周囲への気配りの大切さを認識し、自らコミュニケーションをとって積極的に行動するよう意識づける。（計２件）	30
	行政実務基礎研修	新規採用職員	契約・法制執務等、行政事務に必要な基本知識について学び、日常業務で実践していく。	42
	タイムマネジメント・スケジュール管理研修	主任級の職員	業務の効率性を重視し、自己の業務の時間配分を行い、計画的に業務遂行できる能力の習得を図る。	49
	職場の意思疎通・コミュニケーション活性化研修	主査級の職員	立場や意見の異なる相手の意見を調整することで、職場内の意思疎通・コミュニケーションの活性化を図る。	53
	コミュニケーション・ティーチング力向上研修	主事級の職員	他の職員と協力して業務を進めることができるコミュニケーション力を向上させ、後輩の指導的立場としてのティーチング力の向上を図る。	41
	議会答弁対応力向上研修	課長級の職員、課長補佐、主幹級の職員	座学により議会対応のポイントを学ぶとともに、演習にて令和７年度９月議会予算決算委員会を想定した模擬答弁を行う。	11
	地方公務員法研修	主査級の職員	地方公務員制度の仕組みについて理解し、地方公務員法やその関連法の解釈と運用についての知識を習得することを目的とする。	61
	地方自治法研修	主査級の職員	地方分権改革の流れや地方自治の本旨、法律による行政の原理を理解することで、地方自治の枠組みを基礎付けている理念や制度を修得し、地方自治制度の全体像について認識を深めることを目的とする。	60
	フォロワーシップ研修	主任級の職員	チームワークを考え、協調性を発揮しながら運営していくための能力を身につける。	47
	労務管理研修	課長、次長級の職員	管理職に求められる必須の知識である「職員の労務管理に係る基礎知識」を習得することを目的とする。併せて、育児休業の承認の請求が円滑に行われるよう意識啓発を行う。	42

区分	研修名	対象者	内容	受講者数(延べ)(人)
内部研修（階層別）	交渉調整力研修	課長級の職員、希望する課長補佐、主幹級の職員	業務上の関係者等と連絡調整を行うとともに、業務遂行に必要な交渉力を習得し、業務上折衝力が求められる場面において必要な対応力を身につける。	37
	部下指導・説明力向上研修	主査級の職員	後輩・部下と良好なコミュニケーションを取り、主体的な行動を引き出す指導・支援を行っていくための能力向上を図る。	46
内部研修（課題別）	ハラスメント防止研修	主幹級以上の職員	ハラスメントについての正しい理解を促すとともに、ハラスメントに関する相談を受けるときの心構え等を学ぶ。	126
	普通救命講習	新規採用職員等	病院到達前の心配停止患者の救命率向上を図るために、職員が心肺蘇生法等を習得し、人命救護ができるようにする。	24
	人事評価（1次・2次評価者)研修	各所属の１次・2次評価者（課長、次長、部長級の職員）	人事評価制度の趣旨や目的を理解し、具体的な事例をもとに評価演習を行う等、１次評価者・２次評価者として人事評価の実践力を養う。（計2件）	56
	JIAM研修成果発表会	全職員	全国市町村国際文化研修所（JIAM）での研修成果の発表を行う。	10
	公務員倫理（コンプライアンス）研修	部長級、次長級、課長級職員	「市が行う業務は市民との信頼関係のもとに成り立っている」という原点に立ち返り、公務員倫理の意識高揚を図る。	52
	人権研修（自治体職員だからできることがあるLGBTQの現状を知ろう）	全職員	大阪狭山市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度が令和7年5月から開始したこともあり、改めて全職員を対象に、行政として対応すべき課題等を把握し、今後、組織として何ができるかを検討する。	401
	人権研修（ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見や差別をなくそう）	全職員	戦後80年となり、戦争体験者と同じく体験者の話を聞く機会が減る中で、貴重な体験話を聞き、ハンセン病について学ぶ。	29
	人権研修（同和問題）	全職員	全職員が同和問題について基本的な知識を取得し、差別事象に直面した際に適切な対応がとれるようにする。	31
			小計　26件	1,312

区分	研修名	対象者	内容	受講者数(延べ)(人)
広域共同研修	中部都市職員研修協議会研修	階層別、または指定職員	・新規採用職員研修（前期・後期） ・採用面接官研修 ・新任係長研修 ・ハラスメント相談員研修 ・新任課長研修 ・行政法演習研修 ・クレーム対応研修 ・若手職員ステップアップ研修 ・地方公務員法指導者養成研修 （計 9 件）	56
			小計　9 件	56
派遣研修	おおさか市町村職員研修研究センター(マッセ OSAKA)	全職員	職員の能力向上を図るため、マッセ OSAKA 主催の各種研修会やセミナー等に参加。（計 28 件）	39
	人権関係研修	各部署推せん	部落問題・人権問題に関する総合的・専門的知識の習得と考え方や姿勢を再認識するため、部落解放・人権大学講座、部落解放・人権夏期講座などに参加。（計 4 件）	6
	全国市町村国際文化研修所研修	指定職員	・地域共生社会の実現に向けて ～重層的支援体制整備を中心に～ ・災害時における外国人への支援セミナー ・自治体におけるカスタマーハラスメント対策に参加。（計 3 件）	3
	その他の派遣研修	各部署推せん	安全衛生関係研修会、技術職員研修などに参加。（計 12 件）	23
			小計　47 件	71
	合計 82 件			1,439

公民連携・協働推進グループ

◯コミュニティ活動推進関係

1.大阪狭山市自治会地区会連合会助成金

会員相互の連絡及び親睦を図り、地域コミュニティの振興のための調査・研究及び研修会の実施等の事業を行う大阪狭山市自治会地区会連合会に対し、補助金を交付しました。

助成団体名	加入地区数(地区)	交付金額(円)
大阪狭山市自治会地区会連合会	46	460,000

2．地域力活性化支援事業補助金

地域の課題を解決するための活動やコミュニティ活動、防犯活動など地域住民が自主的に取り組む活動を市が側面的に支援することで、地域における活力の活性化を図り、市民との協働による安全なまちづくりの推進につなげるため、自治会等に対し補助金を交付しました。

・交付内訳（申請団体数：36、実績団体数：35）

補助対象事業名	事業数(件)	交付金額(円)
地域活性化事業	18	434,637
防犯活動事業	19	390,195
防犯資機材整備事業	9	147,729
地域イベント活動事業	26	2,193,010
集会施設小規模修繕等事業	22	852,370
合　　計	94	4,017,941

3．まちづくり円卓会議事業

⑴ 運営費補助金

各中学校区まちづくり円卓会議に運営費補助金を交付しました。

・交付内訳

補助金交付団体	補助金額（円）
特定非営利活動法人南中学校区円卓会議	66,106
第三中学校区まちづくり円卓会議	62,044
狭山中学校区まちづくり円卓会議	75,521

⑵ 提案事業

第三中学校区まちづくり円卓会議から提案のあった 2 事業及び狭山中学校区まちづくり円卓会議から提案のあった 4 事業の予算措置を行うとともに、これらの事業実施の支援を行いました。

校区	事　業　名	決算額（円）	内　　容
第三中学校	円卓会議推進事業	827,081	地域コミュニティ誌の発行や、グラウンドゴルフ大会、花いっぱい運動やイモ掘り体験学習を実施。
	夏まつり事業	1,470,076	地域住民によるまちづくりを進め、住民同士が気軽に交流できるように、夏まつりを実施。
狭山中学校	円卓会議推進事業	1,461,463	地域コミュニティ誌の発行や市民研修会を実施。
	地域文化祭事業	1,150,190	地域文化の向上・発展を図ることを目的とした文化祭を実施。
	さやりんピック事業	1,055,368	防災等の要素も取り入れた競技やレクリエーションを楽しみながらコミュニティづくりを深める事業を実施。 （担当：生涯学習グループ）
	地域美化清掃事業	0	幹線水路のクリーンアップ事業。 ※令和 7 年度は実施なし （担当：下水道・水路グループ）

特定非営利活動法人南中学校区円卓会議には、大阪狭山市まちづくり円卓会議条例及び同条例施行規則に基づき、交付金として 4,621,965 円を交付しました。

事業名	内容
円卓会議推進事業	地域コミュニティ誌の発行等
コミュニティカフェ事業	サロンみらいの運営等
防犯・防災事業	防犯パトロール、HUG 訓練等
環境事業	花いっぱい運動等
地域コミュニティ交流事業	陶器山元気ウォーキング等
地域コミュニティ醸成事業	元気クラブの開催等
子ども育成事業	夏休み親子工作教室等

4．職員地域交流スタートアップ事業

地域と協働してまちづくりを推進していくため、地域の活動がわかる職員づくりを目的に、地域における課題や取組内容、その意義などについて理解するための研修を実施しました。

令和 7 年度は「自治会地区会連合会」の役員の方々と一緒に、若手職員 6 人が自治会・地区会の加入促進パンフレットの作成を行いました。

○市民公益活動促進事業関係

1．市民公益活動促進委員会

委員会は、市民公益活動の促進に必要な事項を調査審議する市長の諮問機関であり、現委員は令和 6 年 8 月に委嘱し、構成は市民 3 人、事業者 1 人、学識経験者 2 人、その他 2 人、計 8 人で、任期は令和 8 年 8 月 26 日までです。

委員会を6回開催し、令和7年度市民公益活動促進補助金交付申請事業の審査結果及び完了した補助事業に関する意見のとりまとめ、令和8年度市民公益活動促進補助金申請事業の募集等について審議しました。

また、委員会で設置した専門部会の評価部会において、令和7年度市民公益活動促進補助金交付申請に係る審査、補助対象事業の期中評価などを行いました。

2．市民公益活動促進補助金

大阪狭山市市民公益活動促進条例の基本理念に基づき、市民公益活動を促進するために公募制で実施する補助金制度です。令和7年4月20日に実施した公開プレゼンテーションの審査を経て、7団体9事業に補助金を決定し、実績報告のあった7団体9事業に補助金の交付を確定しました。

「チャレンジ部門」

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額(円)
1	オレンジいっぱいプロジェクトin大阪狭山	大阪狭山市まちづくり研究会	認知症への関心を高め、正しい理解を広めることを目的にオレンジガーデニングプロジェクトを実施する。認知症の象徴であるオレンジ色の花を市内で咲かせることで、認知症について考える機会を創出し、地域全体の意識向上を図る。	76,000
2	大阪狭山市民の学びと集いの場	たまゆら（介護者家族の会）	自宅で家族を介護している当事者や、当事者以外の方に向け、学びの場としての講演や情報発信を実施する。	19,000
計	2事業	2団体		95,000

「自立促進部門」

【テーマ型】

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額(円)
1	でっかい背中フェスタ	大人の本氣見せたろ会	大人が本気で取り組む、大人が主役の運動会を開催する。初対面の人と一致団結し優勝をめざすことにより仲間意識が芽生え、地域の活性化につなげる。	68,000
2	ひきこもりの若者たちが「EM廃油石鹸」で未来との循環を作る	特定非営利活動法人南大阪サポートネット	ひきこもりの若者たちと支援者が、廃油を集めてＥＭ廃油石鹸づくり、その石鹸を使ってもらうことを通して、社会との繋がりを持ち、自分にも社会にも優しい循環のある取組みとして社会に貢献することで、当事者が望む自分らしい生き方の実現をめざす。	240,000
3	～みんなで学ぶペット防災体験＆ペットと同行避難～	大阪狭山防災士の会	人とペットの防災体験を実施し、人と動物の共生する社会づくりを推進するとともに、平時から行うべき対策や災害時の同行避難について飼い主などへの普及啓発を行う。	150,000
4	ペット防災～さやりんの箱舟大作戦～	猫ともクラブin大阪狭山	ペットだけではなく誰もが助かる防災への備えについて、様々な意見、アイデア、情報収集などが行える場を作ることを目的としたイベントを実施する。	82,000
計	4事業	4団体		540,000

【提案型】

番号	事 業 名	団　体　名	事　業　の　概　要	補助額(円)
1	ひきこもり、不登校に関する支援マップ作成	特定非営利活動法人南大阪サポートネット	ひきこもり当事者は支援窓口や相談に行けない状況がほとんどであり、当事者の親も相談場所を探すのに苦労するケースが多い中、本事業でひきこもり・不登校に関する支援マップを作成することで、近隣他市にわたり負担なく情報に出会えるようにする。	237,000
2	“歌の力”で高齢者の孤立、孤独をサポートする「高齢者憩いの歌声広場」	NPO 団体 グローバル・スクール	高齢者の孤立・孤独を防ぐことを目的として、歌の力で元気になれるように、大きなスクリーンに映像と歌詞を映しながら、ピアノの生併奏で昭和と平成に流行した歌謡曲などを楽しく全員で合唱する事業を実施する。	260,000
3	こどまちっく天国	大人の本氣見せたろ会	自分たちで考え作った商品を売買する、子どもだけのマルシェを実施する。子どもの主体性にフォーカスし、どんな環境や立場の子どもも自分で考えや感情を安心して表現できる場所づくりをし、生きるチカラを育む。	84,000
計	3 事業	3 団体		581,000

3．市民活動支援センター事業

市民との協働によるまちづくりの推進を図る拠点である市民活動支援センターの運営を、公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団が行いました。（委託料：31,724,000 円）

・主な事業内容

まちづくり大学事業	まちづくりにかかる人材の発掘と育成を図るため実施。 （第 21 期　受講者 15 人）
相談事業	団体立ち上げ、NPO 法人申請、助成金申請など市民公益活動に関する相談事業を実施。
情報提供と収集・発信事業	ホームページやメールマガジン、情報誌ニューズレターにより、市民公益活動に関する情報を市民・活動団体に提供。
マッチング事業	市民・活動団体が必要とする人・物・資金・情報等を対象として、マッチング事業を実施。
市民活動支援（学びの広場）事業	市民公益活動を支援するため、ボランティア講座や団体交流会、市民活動支援セミナーを実施。
地域社会体験学習事業	学生が地域社会で活動するボランティア団体・市民の人たちの中に入る体験学習の受入れ。
わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル	市内で活動する団体を対象に、団体の活動を市民に紹介し、団体同士のコラボレーションの可能性等を探ると同時に市民とのふれあいの機会をつくるために実施。市民活動支援センターのほか、社会福祉協議会、市立公民館との共催。
備品貸出等	・ワークステーションの設置運営（ミーティングスペース、ミーティングルーム、メールボックス、貸しロッカー、印刷機や複写機・紙折り機等） ・ウェブ会議や動画作成に活用できるパソコン・カメラ等の備品の貸出

４．市民・市民公益活動団体との協働事業

市民やNPO、ボランティアグループなどの協働事業に関する調査を実施し、令和７年度事業として、庁内から151事業の協働事業の報告がありました。

５．狭山池まつり実行委員会事業補助金

狭山池まつり実行委員会が「大阪狭山市民のシンボルである狭山池の再発見、水との共生」「広く地域住民が集い交流できる市民まつり」「わが町の歴史・文化の振興と共有」「青少年の健全育成・人づくり・まちづくり」「本市の市民活動と経済の活性化」を目的に実施した事業に、補助金3,500,000円を交付しました。

⑴ 狭山池まつり2025

開催日　令和７年４月26日、27日

来場者数　約49,000人

⑵ 通年事業（狭山池クリーンアクション）

第１回狭山池まつり開催後の平成14年６月から市民に広く呼びかけ、月１回以上、堤や河口の清掃・草刈などを継続して実施するとともに、平成16年度からは水質検査に取り組むなど、本市のシンボルである狭山池を、いつまでも美しいままに未来へ繋ぐための活動を行い、令和７年度まで通算309回の実施となりました。

６．特定非営利活動法人の設立認証等事務

市内のみに事務所を設置する特定非営利活動法人に係る事務手続きを行いました。

市内の法人数	24

７．まちの活性化推進事業

狭山ニュータウンの活性化を促進するため地域住民等が主体となって組織する「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議」に補助金690,440円を交付しました。

・主な事業内容

⑴ 未来を育むふれあいまつり

開催日　令和７年８月８日

会場　　狭山ニュータウンファミリーロード

内容　　飲食や遊びの模擬店、音楽ライブなど

⑵ 第５回狭山ニュータウン魅力発見フェスタ

開催日　令和７年10月25日

会場　　東大池公園

内容　　謎解きウォーキング＆さやマルシェ

⑶ 狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト2026 ミーティング

開催日　令和８年２月20日

会場　　市立コミュニティセンター・音楽室

内容　　プロジェクト説明と意見交換

○公民連携事業

行政が抱える課題解決、市民サービスの向上、地域の活性化を目的に、民間事業者等のノウハウ、アイデアを積極的に活用する事業です。令和７年度は包括連携協定の締結はありませんでした。

○文化振興関係

１．文化会館管理事業

優れた芸術の鑑賞や市民の文化活動の発表の場である大阪狭山市文化会館（SAYAKA ホール）の管理運営を、指定管理者である株式会社ケイミックスパブリックビジネスが行いました。

（指定管理料：130,639,108 円）

⑴　施設利用状況

利用率	利用率（%）	利用件数（件）	利用人数（人）	施設使用料（円）	備品使用料（円）
大ホール	53.7	259	66,648	11,506,000	5,077,650
大ホール（前方部分）	11.6	7	696	141,300	126,300
小ホール	63.3	311	31,079	4,795,850	3,044,300
コンベンションホール	64.2	275	26,813	3,941,550	2,253,700
展示ホール	65.2	235	21,288	2,061,340	523,200
リハーサル室１	96.8	547	13,083	2,578,860	276,150
リハーサル室２	83.5	417	5,143	864,990	360,950
小会議室１	90.0	408	3,554	626,730	15,300
小会議室２	89.4	432	4,365	805,490	26,750
中会議室	53.5	181	2,404	498,990	35,150
大会議室Ｓ	74.5	288	5,485	645,210	29,800
大会議室Ｌ	61.0	213	9,718	989,620	367,850
和室	73.9	310	3,661	468,300	53,800
美術室	91.0	414	7,055	1,547,750	32,950
楽屋	－	1008	12,075	1,715,210	0
合計　※利用率は平均値	74.2	5,305	213,067	33,187,190	12,223,850

⑵　実施事業

事業の種別	概　　要	事業数
鑑賞型事業	市民が国内外のプロによる質の高い芸術作品に触れる機会を提供する事業	22 事業
創造型事業	施設の機能を活かした文化会館独自の良質な音楽事業や舞台作品等の自主事業	4 事業
市民参画型事業	市民が舞台等で表現する機会を提供する事業（「さやま芸術祭」等）	4 事業
教育普及型事業	市民が文化芸術のスキルアップを図る機会となる講座・セミナー等	2 事業
地域文化活動支援事業	市民の自主的な文化芸術活動の支援及び地域文化の発展に寄与するアーティストを発掘・育成する事業（「文化の花咲かそ補助金」含む）	3 事業
情報発信・活用事業	公式 YouTube チャンネルの運営及び本市及び近隣エリアのアーティストをウェブサイトで情報発信	2 事業

２．文化振興事業

市民の教養を高め、文化向上に寄与することを目的に大阪狭山市文化協会に対し、補助金 400,000 円を交付しました。

○国際化施策及び地域間交流関係

１．都市間交流

姉妹都市アメリカ合衆国オレゴン州オンタリオ市、友好都市和歌山県日高郡日高川町との市民相互の交流を促進するため、大阪狭山市都市間市民交流協会に補助金 4,500,000 円を交付しました。

・主な事業内容

⑴ オンタリオ市への学生派遣

令和 8 年 3 月 13 日から 3 月 26 日までの 14 日間、本市から高校生 2 人、大学生 3 人をオンタリオ市に派遣し、交流を深めました。

⑵ 姉妹都市提携 50 周年記念オンタリオ市親善訪問

親善訪問団を結成し、令和 7 年 9 月 30 日から 10 月 4 日までの 5 日間、オンタリオ市を訪問して交流を深めました。

⑶ 日高川町との交流

令和 7 年 5 月 31 日の「日高川町寒川ワンダフルナイト」に 36 人が参加し、令和 7 年 11 月 9 日の日高川町フォレスト祭には 21 人が参加しました。日高川町フォレスト祭では、大阪狭山市のブースを出展し、友好都市との交流を行いました。

⑷ 市民版「こうりゅう」の発行

令和 8 年 1 月に、市民向けの「こうりゅう」を発行し、市広報誌に折り込みで全戸配布しました。

○大阪・関西万博事業

大阪・関西万博（令和 7 年 4 月 13 日～10 月 13 日開催）で大阪府及び府内 43 市町村が連携し、大阪の歴史・文化・産業等の魅力を国内外に発信する「大阪ウィーク」に参加しました。

１．だんじり展示・実演

前田地車保存会（前田地区会）がだんじりの展示・実演を行いました。

日時：令和 7 年 5 月 9 日～10 日

場所：大阪・関西万博会場　EXPO アリーナ（Matsuri）

２．市民パフォーマンスステージ「Osakasayama Ryujin Stage ～MIRAI～」

大阪・関西万博会場大阪ヘルスケアパビリオン　リボーンステージで、市民団体（個人）による、大阪狭山市の魅力を世界に発信する市民パフォーマンスステージを開催しました。

日時：令和 7 年 5 月 11 日

場所：大阪・関西万博会場　大阪ヘルスケアパビリオン　リボーンステージ

３．市民アート展示「狭山池バトンアートパーク」

「過去から未来へといのちをつなぐ狭山池」をテーマとした水彩画作品を市民から募集し、その作品の一部を活用して、大阪狭山市の魅力が詰まった 1 つのアート作品を大阪・関西万博会場で展示をしました。

日時：令和 7 年 7 月 26 日～27 日

場所：大阪・関西万博会場　ギャラリーWEST 屋内展示室②

４．万博参加催事「南河内 LIVE　ART　EXPO」

日時：令和 7 年 9 月 16 日

場所：ギャラリーWEST 屋外展示スペース

概要：大阪ウィークで南河内市町村 6 団体が各々アート作品を制作。
市出身アーティスト寅貝真知子さんプロデュースによるデジタルアート作品を制作し、
プロジェクタ投影による体験型の企画を実施しました。